

## 一般部門／書系

### 審査評

今回の審査は、主として作品画像を拝見して行いました。全体の構成や字形についてはほぼ把握することができましたが、やはり細かな筆意、墨色、線質、サイズ感などをみて取ることに難渋する場面がしばしばありました。

ウェブ上での作品は、今回のような公募で審査を受ける場合はもとより、作品発表をする場合などでは、画像の撮り方がより大切になってくることを痛感しました。もちろん書本来の技量とは別のことかもしれませんが、書も例外ではなく、様々な文化的な活動がインターネットを通じて行われていくであろう今後を見据えると、ウェブにおける書作品のみせ方についても考えていく必要があるかもしれません。

今回は、入選と特選の作品を選ばせていただきました。それらの中で、篆刻の「単槍獨馬」は確かな技術に裏付けされたものでした。また、対聯形式の「「秘蔵法鑰」より」は、伝統的な表現を踏まえた高い水準のもので、私ども審査員の印象に強く残っています。何より出品者の真摯な取り組みや創意に溢れたものも多く、選考は悩みながらも楽しいものとなりました。

(東京学芸大学 准教授 橋本 栄一)